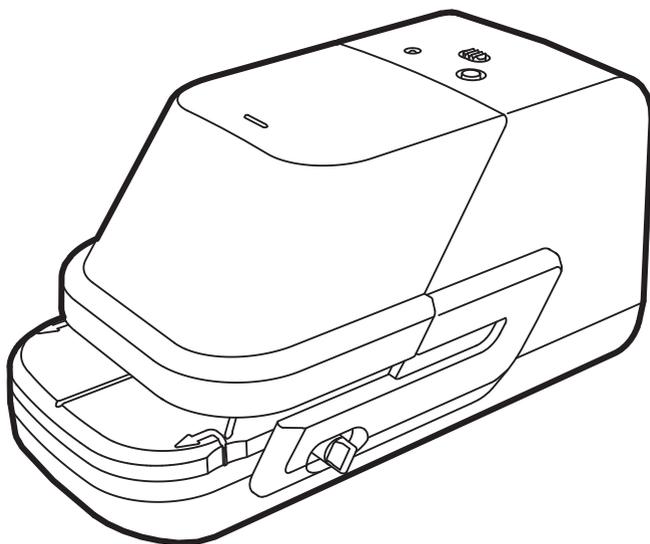


EH-70FII

取扱説明書



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書(保証書)は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。



このたびは、マックス電子ホッチキスをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



注意

取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみの発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

お願い

本機が故障し修理が必要になる事が想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

MEMO

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。



取扱説明書のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について



記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。



記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。



記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は、具体的な指示内容です。

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。 VCCI-B

ご使用上の注意

警告

- 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まない

故障や、火災、感電、けが、やけどのおそれがあります。

- 針の出口部には、絶対に手や物を差し入れない

機械の故障の原因になるばかりでなく、身体上の危険を生じるおそれがあります。

- 電源コードは必ず付属のものを使用する

火災・感電のおそれがあります。

- 電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしない

火災のおそれがあります。

- 電源コードを加工しない

火災、感電のおそれがあります。

- 電源コードの上に重いものを絶対にのせない

コードに傷が付いて火災や感電のおそれがあります。

- 電源コードは、束ねたまま使用しない

発熱により、火災や故障のおそれがあります。必ずほどいてご使用ください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電のおそれがあります。

- 水に濡れた手、衣服のまま本機の操作をしない

感電のおそれがあります。

- コンセントに差し込んだまま、紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしない

火災や故障のおそれがあります。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜く

コードが破損して火災や感電のおそれがあります。

- 水、薬品などが本機にかからないようにする

万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると故障や、火災、感電のおそれがあります。

- 故障のまま本機を使わない

煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障のまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

- 針（カートリッジ）の交換や針づまりを直す場合、必ず電源プラグをコンセントから抜く
- 本機が不意に動作したとき、けがのおそれがあります。

- 設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う

電源プラグをコンセントに差ししたまま移動させるとプラグやコードが傷つき、火災や感電のおそれがあります。

- 本機は絶対に分解または改造しない

火災、感電、故障、けがのおそれがあります。

- 電源プラグは定期的に清掃する

長い間にホコリなどがたまり、火災や故障のおそれがあります。

- 電源は定格内の AC100V 専用コンセントを使用する

100V以外の電源を使用すると故障や火災、感電のおそれがあります。

- とじ位置センサ（白色）には絶対にさわらない
- 本機が動作し、けがのおそれがあります。

ご使用上の注意

⚠ 注意

- | | | |
|---|--|--|
|  | <p>●本機は必ず水平に設置する。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しない
倒れたり台から落ちたりして、けがや故障のおそれがあります。</p> <p>●直射日光の当たる場所や高温多湿の場所、結露した状態での使用は避ける
動作が不安定になることや、本機故障のおそれがあります。</p> <p>●大きな容量を必要とする機器（冷暖房機、冷蔵庫、電子レンジ、OA 機器等）とコンセントを共用しない
電圧が下がり本機が誤動作するおそれがあります。</p> <p>●用紙がない状態ではスタートボタンを押さない
故障、針づまりのおそれがあります。</p> <p>●64g/m² (55kg) の PPC 用紙以外を使用しない
故障、針づまりのおそれがあります。</p> | <p> ●長期間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> |
| | | <p> ●本機を移動させる時は、本体の底面を持って運ぶ
けが、故障のおそれがあります。</p> |
| | | <p>●針が出る部分には絶対に指を入れない
けがのおそれがあります。</p> <p>●針の先端は鋭利なので取扱いには十分注意する
けがのおそれがあります。</p> <p> ●針交換の際、本機内部（カートリッジが入っている場所）は絶対にさわらない
けがのおそれがあります。</p> |

お願い

☆本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

1. トラブルの原因になりますので次のような場所では使用および保管をしないでください。
 - ① 直射日光の当たる場所やヒーターなどの熱源に近い場所
 - ② ホコリや湿気の多い場所
 - ③ 傾いたり振動や衝撃の加わる場所
 - ④ 温度が 10℃以下、35℃以上になる場所
2. 針は必ずマックス純正品 (No.70FE) をご使用ください。
3. 本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や薬品は使わないでください。変形したり変色するおそれがあります。
4. 本機は安全のため、ケースキャップを開くと動作しない構造となっています。使用時はケースキャップを確実に閉じてください。
5. 空とじをしないでください。
故障、針がつまるおそれがあります。
6. 重ねとじ（針がとじられている同じ場所にとじる）をしないでください。故障、針がつまるおそれがあります。
7. カールしている用紙、そりのある用紙は直してから本機に挿入してください。
8. パンチ穴をとじないでください。故障、針がつまるおそれがあります。

免責事項

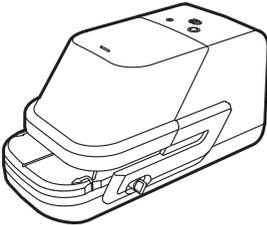
本取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害や、故障等の使用不能の際に生じた損害や逸失利益、およびこれにより生じた 2 次的な損害につきましては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

目次

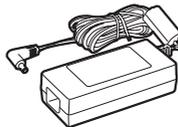
① 同梱品の確認	5
② 各部の名称	6
③ カートリッジ (針 No.70FE) のセット	7
④ 自動でとじる	9
⑤ 手動でとじる	10
⑥ コーナーにとじる	11
⑦ カートリッジ (針 No.70FE) の交換	12
⑧ 針づまりの直し方	14
⑨ こんなときは	16
⑩ 商品仕様	17
⑪ 保証書とアフターサービス	18

① 同梱品の確認

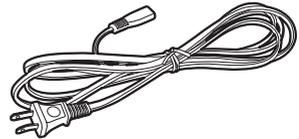
●EH-70FII 本体……1台



●ACアダプタ……1ヶ



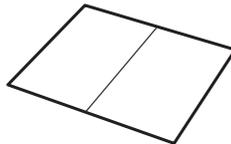
●電源コード……1ヶ



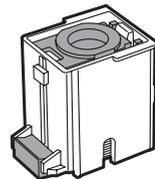
●取扱説明書
(本書)……1部



●お客様登録カード
兼保証書……1部

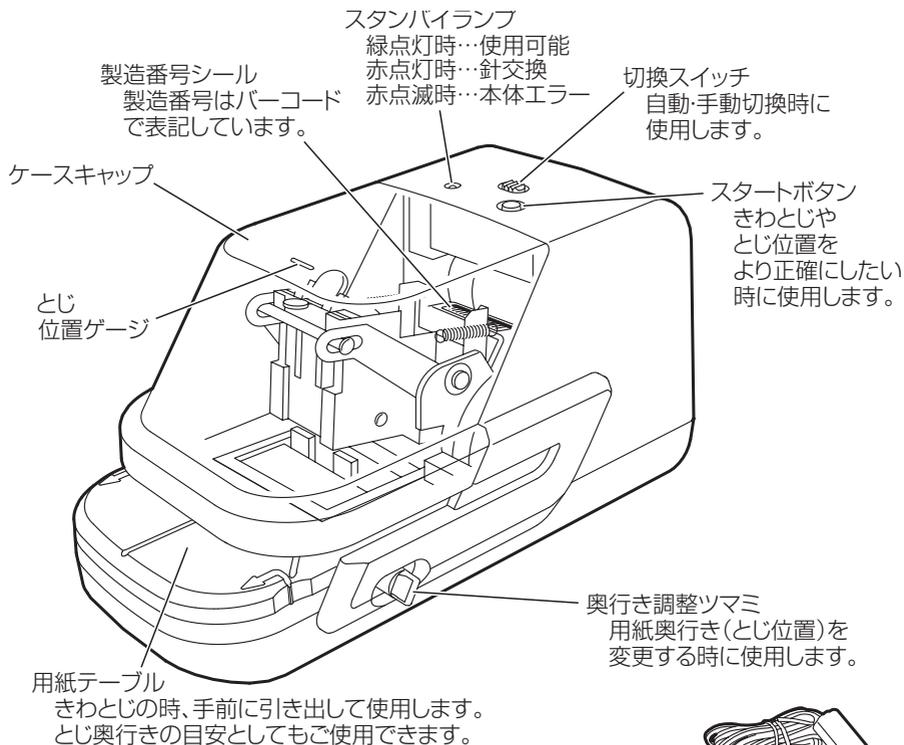


●No.70FE
(カートリッジ)…1ヶ

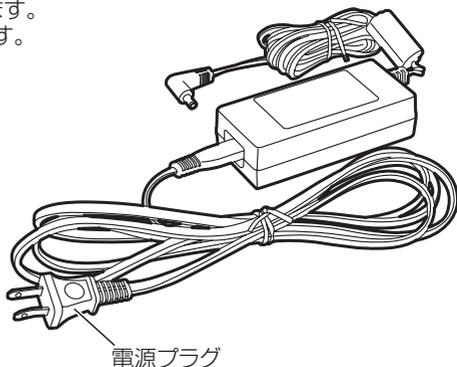
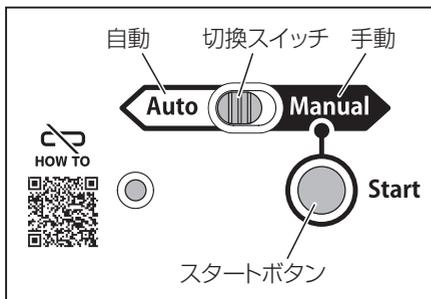


2 各部の名称

各部の名称とはたらき



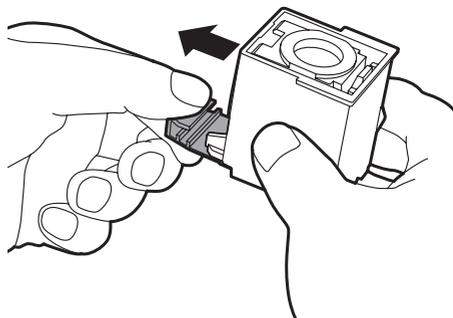
本体上面表示



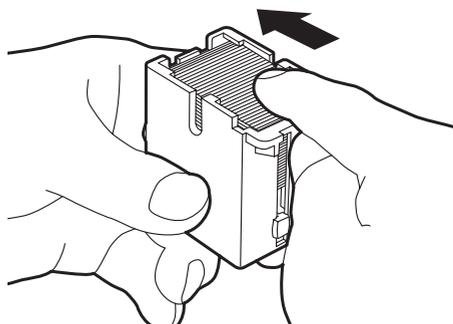
③ カートリッジ (針 No.70FE) のセット

●カートリッジを本機にセットする前に、カートリッジの準備と点検をお願いします。

図のように、カートリッジの下に付いているストッパを矢印の方向に引っ張って取り外します。



※針シートがカートリッジより出ている場合は、必ず針シートをカートリッジ内に押し込んでください。
カートリッジより針シートが出たままセットしますと、針詰まりや針送り不良の原因となります。



⚠ 警告



●針を本機内にセットする場合、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

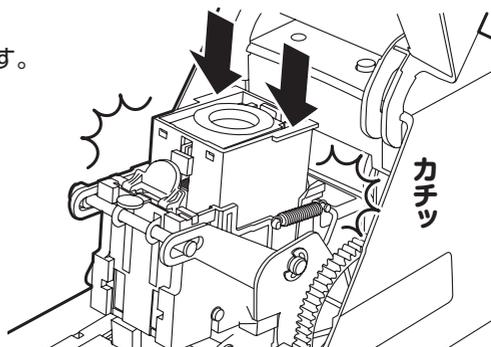
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

①本機の電源コードをコンセントから抜きます。

②図のようにケースキャップの両側面を内側に押しながら開けます。



③カートリッジを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。



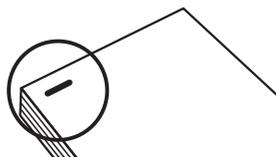
④ケースキャップをしっかりととじます。



⑤電源コードを 100V 専用コンセントに差し込みます。

MEMO  カートリッジをセットした直後は、最初の 5～7 本が空打ち（針が出ないで用紙がとじられない状態）になりますが、故障ではありません。これは針シートが、とじ位置まで移動しているためです。

④ 自動でとじる (平行うち)



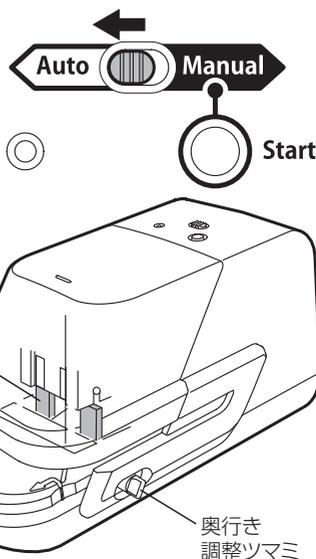
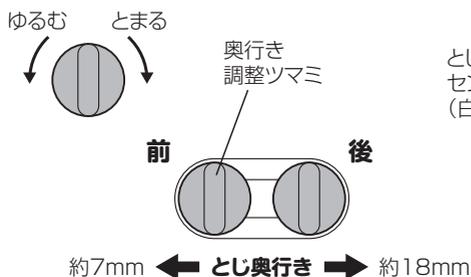
⚠ 警告



●とじ位置センサ (白色) には絶対にさわらないでください。
本機が動作し、けがの原因になります。

①本体上面の切換スイッチを Auto (自動) の位置に動かします。

②とじ奥行きは約 7mm ~ 18mm (平行打ち) の範囲で調整できます。奥行き調整ツマミをゆるめて前・後に動かし、ご希望の奥行きに合わせます。

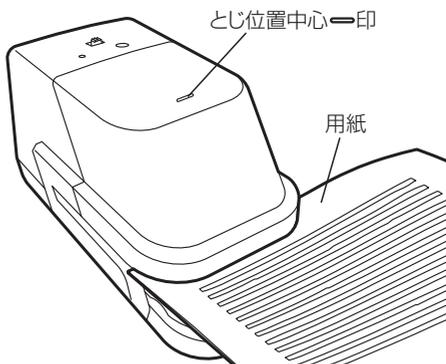


MEMO 奥行き調整ツマミの固定は、必ず「とまる」方向 (時計方向) にツマミを回してください。「ゆるむ」方向で固定すると、とじ位置センサ (白色) が機能しなくなり、本体が動作しなくなることがあります。

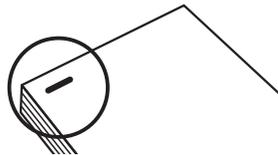
③横方向のとじ位置は本体前面の≡印です。用紙を左右に動かし、ご希望の位置を設定します。

④用紙を入れると自動でとじられます。

MEMO 用紙先端がとじ位置センサ (白色) に触れると動作します。

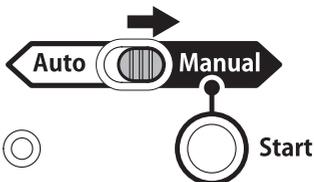


5 手動でとじる (平行うち)

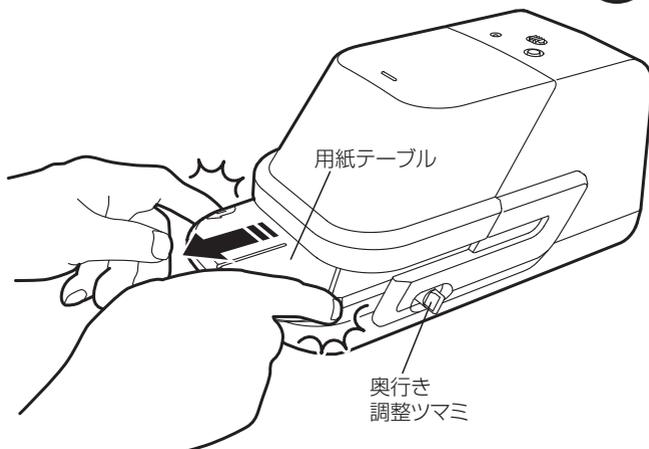


MEMO 用紙をきわとじる時 (とじ奥行き約 3mm ~ 6mm) は、スタートボタンを使用してください。

① 本体上面の切換スイッチを Manual (手動) の位置に動かします。



② 用紙テーブルを手前に引き出します。

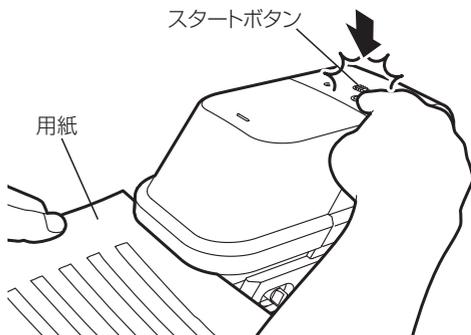


MEMO 手前に引き出した用紙テーブルは、位置決め (とじ奥行き約 3mm ~ 18mm) の目安としてもご使用いただけます。

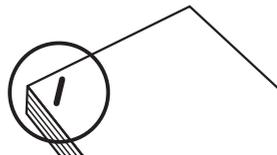
とじ奥行き約 7mm ~ 18mm を手動でとじる時は、奥行き調整ツマミを後ろに移動させてください。

③ 用紙を入れてスタートボタンを押してとじます。

MEMO 用紙が入っていない状態ではスタートボタンを押さないでください。空打ちによる針づまりや故障の原因になります。

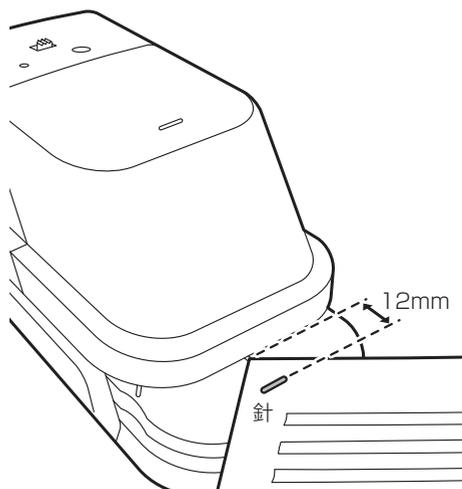


⑥ コーナーにとじる

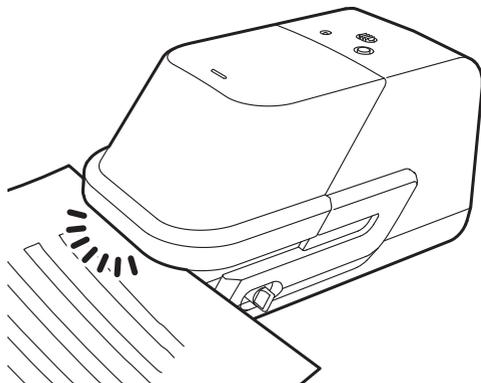


コーナーとじをする時は用紙の角を入れてください。

MEMO とじ奥行きを7mmに合わせた時、用紙の端から12mmのところにとじられます。



MEMO カートリッジをセットした直後は、最初の5～7本が空打ち（針が出ないで用紙がとじられない状態）になりますが、故障ではありません。これは針シートが、とじ位置まで移動しているためです。



7 カートリッジ (針 No.70FE) の交換

- カートリッジ内の針がなくなると「カートリッジの交換を知らせるため」、本機上面のスタンバイランプが赤色点灯して、用紙を入れてもとじられなくなります。下記の要領で交換してください。

警告



- カートリッジを交換する場合、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

- ①電源コードをコンセントから抜きます。

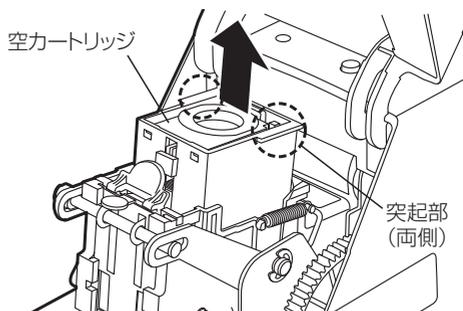
- ②図のようにケースキャップ両側面を内側に押しながら開けます。



- ③空カートリッジの突起部を持って上方向に引っ張り上げ、取り外します。

- ④新しいカートリッジをセットします。

- ⑤不要な用紙を5～7回入れ、空打ちさせてください。針が実打されたら交換完了です。

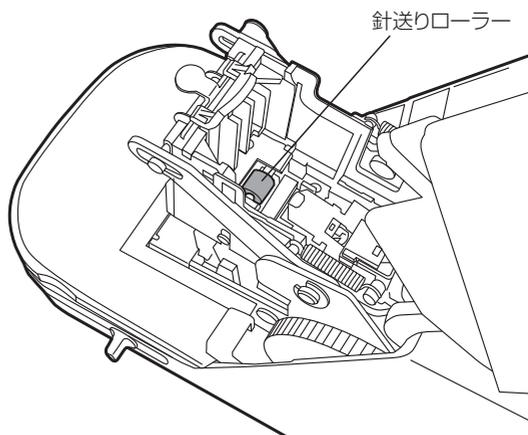


セット方法は、本書7ページのカートリッジ (針 No.70FE) のセットを参照し、行ってください。

-
- 針が無くならないうちにカートリッジを取り外した場合は、カートリッジと本機内に残った針は必ず除去してください。

お願い

1. 針は必ずマックス電子ホッチキス針 No.70FE（カートリッジ）をご使用ください。
2. 折って短くなった針や変形した針、クズ針をカートリッジに入れ直したり、本機内に入れて再使用したりしないでください。故障や針づまりの原因になります。
3. 本機内の針を除去する際は、針送りローラーに触れないでください。油脂等が付着すると針送り不良の原因になります。



⑧ 針づまりの直し方

●針がつまった場合には、下記の要領で取り除いてください。

⚠ 警告



●針づまりを直す場合、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

①電源コードをコンセントから抜きます。

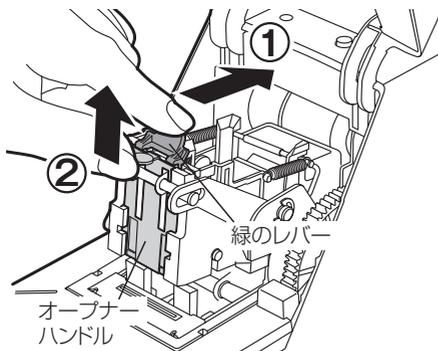
②図のようにケースキャップ両側面を内側に押しながら開けます。

③カートリッジの突起部を持って上方方向に引っ張り上げ、取り外します。

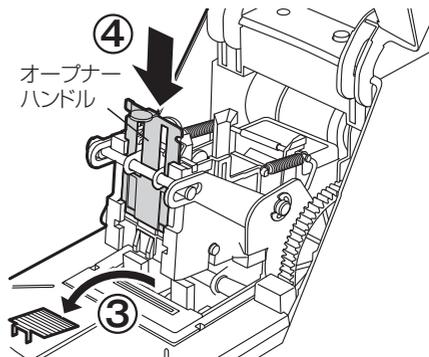


取り外し方法は、本書 12 ページのカートリッジ（針 No.70FE）の交換を参照し、行ってください。

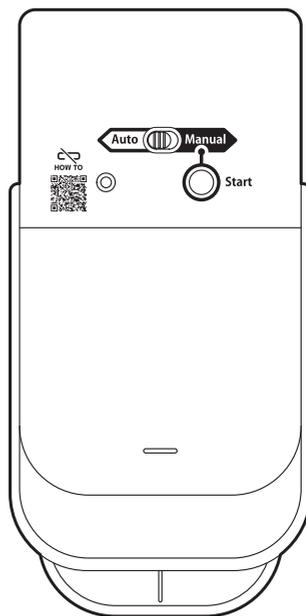
- ④ 本体前面部の①緑のレバーを奥に押しながら、②手前のハンドルを上側に強く押し上げます。



- ⑤ ③つままった針を取り除きます。
⑥ 取り除いた後、④オープナーハンドルを押し下げ、元の位置に戻してください。



MEMO 本体天面のQRコードに「針の交換方法」「針づまりの除去方法」のリンクがあります。参照の上ご利用ください。



9 こんなときは

症状	ご確認ください	対処方法	参照
用紙を差し込んでもとじ動作をしない	スタンバイランプが赤く点灯していませんか？	新しい針を装填してください	P7
	スタンバイランプが赤く点滅していませんか？	電源プラグをコンセントから抜いて 販売店、またはマックスエンジニアリングサービス（株）に修理をご依頼ください	P18
	スタンバイランプが消えていませんか？	ケースキャップをしっかりと閉めてください	P8
		専用の AC アダプタを正しく接続してください	P8
		針カートリッジを正しく装填してください	P7
	切替ボタンが「Manual」側になっていませんか？	「Auto」側に切替えてください	P9
「Start」 ボタンを押して実打してください		P10	
とじ動作は行われるが針が用紙にとじられない	針を交換しましたか？	不要な用紙を入れて空打ちを5～7回行ってください	P12
		カートリッジを抜き、一番下の針板を廃棄してから再セットしてください	P12
	針が詰まっている可能性があります	参照の手順にそって処理を行ってください	P14

上記対応を行っても解消できない場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて 販売店、またはマックスエンジニアリングサービス（株）の各サービスステーションに修理をご依頼ください。

10 商品仕様

商 品 名	マックス電子ホッチキス EH-70F II
と じ 能 力	PPC 用紙 64g/m ² (55kg) 約 2 ~ 70 枚
と じ 速 度	2 本 / 秒
と じ 方 式	針自動送り方式
と じ 奥 行	(自動) 約 7mm ~ 約 18mm (手動) 約 3mm ~ 約 18mm
外 形 寸 法	(幅) 113mm × (高さ) 113mm × (奥行) 229mm
質 量	1.5kg
消 費 電 力	約 48W
電 源	DC24V, 2.08A 専用 AC アダプタ (AC100-240V, 50-60Hz, 1.4A) ※製品に添付されている専用アダプタを使用すること
使用温度・湿度	温度 5℃ ~ 35℃ 湿度 15% ~ 80% RH 以内
使用ステープル	マックス電子ホッチキス針 No.70FE (5,000 本入カートリッジ)

お願い

1. 商品仕様に記載のとじ能力は、PPC 用紙 64g/m² (55kg) の場合です。用紙によっては、この枚数がとじられない場合があります。その場合、無理なご使用はおやめください。
2. 長時間連続で使用すると、モータが加熱してとじられなくなることがあります。その場合は、機械を 30 分以上休止し、モータを冷やしてからご使用ください。
3. 本機は PPC 用紙 64g/m² (55kg) を 70 枚以下でご使用ください。能力以上でのご使用は故障の原因となります。

11 保証書とアフターサービス

■保証書について

- 保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、弊社営業拠点、またはマックスエンジニアリングサービス（株）各サービスステーション窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

■アフターサービスについて

- お買い求めの販売店、または弊社営業拠点、マックスエンジニアリングサービス（株）にご相談ください。修理の際、全てのお客様に対して、センドバック方式（持ち込み修理）のみとなります。故障時は元払いでお送りください。出張修理は行っておりません。また、修理期間中の代替機貸し出しは行っておりません。予めご了承ください。

ご不明な点は下記へお問合せください

ホームページ <https://wis.max-ltd.co.jp/op/>

お客様相談ダイヤル：**0120-510-200** (土日・祝日・当社指定休日を除く)

※「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容は対応品質向上のため録音させていただいております。

本社・営業本部オフィスプロダクツ営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

支店・営業所

札幌、仙台、東京、静岡、名古屋、大阪、四国、広島、福岡

修理に関するお問合せは

マックスエンジニアリングサービス株式会社

東日本／東京サービスステーション

〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-19

TEL 042-548-5332 (代)

西日本／大阪サービスステーション

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江3-9-10

TEL 06-6110-0265 (代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。